

会報 エコネットはんのう

編集・発行 / はんのう市民環境会議

「人と緑かがやきフェスタ」に参加しました

10月13日(土) 14日(日)に飯能市主催による森林文化都市宣言推進事業「人と緑かがやきフェスタ」が開催されました。本会では、「キャンドルナイト」、「森林文化都市ウォーク」、「はんのう生活祭」に事業協力しました。

○キャンドルナイト

生活環境部会では、西川材の端材で組み立てた燭台と半端なワーロン紙(和紙素材)を風除けシートとして利用し、約150個のキャンドルを市民会館玄関前に設置しました。飯能幼稚園の協力により、風除けシートには園児によりカラフルな絵や模様を描いていただき、素敵なキャンドルとなりました。



中央公園では、飯能青年会議所、飯能商工会議所等により、約4,600個のキャンドルが設置され、「森林」や「Peace」の文字などが暗闇に浮かび上がりました。

こちらのキャンドルには、紙コップに市内の小学生約1,500人が環境や森林に対する思いを描いてくれました。

聖望学園の生徒によるハンドベルの演奏なども行われ、会場には約2,000人が訪

れ、幻想的なひと時を過ごしました。



○森林文化都市ウォーク

地球環境部会では、ウォーカーにより森林に親しんでいただくため、コース脇の樹木に名札を取り付けました。

奥武蔵自然歩道を中心に、スギやヒノキ、コナラ、ヤマグリなど19種類50本に、西川材で作製した名札を設置しました。

木の名札はとても温か味があり、ウォーカーに大変好評でした。



○はんのう生活祭(森のようちえん)

地球環境部会では、昨年からの苗づくりプロジェクトとして、樹木の種子採取をしました。その種子を育て、苗木となったヤマグリやモミジ、コナラなどの苗を約100本無料で配布しました。

部会等活動報告（7月～10月）

《自然環境部会》

7月8日（日） 自然観察会「ホタルの里の手入れをしよう」の巻

天覧山谷津の再生プロジェクトが始まるにあたり、現地での自然観察会をしながら、今後何をしていけばいいか、どのような手入れが必要かなど、みんなで話し合いをしました。谷津田には、びっしりと葦（ヨシ）や萱（カヤ）などが繁茂していました。参加者は11名でした。

8月12日（日） 自然観察会「川を歩こう」の巻

お盆前の開催でしたが、10名の方が参加されました。とても暑い日だったにも関わらず、名栗川歩きは涼風に包まれ別天地のような気持ち良さでした。今年もイワタバコ（岩煙草）の可憐な花に出会え、また、いろいろな水生生物をたくさん観察することができました。



9月9日（日） 自然観察会「秋の野草観察」の巻（地球部会合同）

天覧山谷津において、秋のこの時期に花を咲かせる様々な野草を観察しました。その後、ゆっくりと多峯主山まで散策を楽しみました。参加は13名でした。

《地球環境部会》

地球環境部会では、7月に予定していた「名栗原生林 大ブナ植生調査」と8月に予定していた「名栗湖周辺樹木調査」

が雨天により中止となってしまいました。5月と6月も事業が中止となっており、天気に恵まれない地球環境部会です…。

8月26日（日） ポット植え作業（子ども家庭課・森のようちえん 森づくり事業共催）

市が所有する美杉台公園の東側にある緑地（森のようちえん）で、春に種子を採取し育ててきたコナラやイロハモミジの苗木をポットに植え替えました。生育はまずまずで、秋に開催される生活祭で市民へ無料配布します。

9月9日（日） 自然観察会（自然環境部会合同）

自然環境部会と一緒に、天覧山谷津の自然観察会を行いました。今年は、昨年と違いたくさんの木の実が落ちており、おもしろいようにコナラやクヌギなどのドングリが取れました。たいりょう、たいりょう！（^0^）

10月21日（日） 名栗原生林での種子採取、大ブナ調査

7月に予定していた大ブナ調査は中止となりましたが、今回は天気もよく実施することができました。ミズナラやヤマグリなどの種子が、たくさん採取できました。

また、伝説の地ウノタワでは、景観を楽しみながら植生調査を行いました。大ブナは、幹にビッシリ苔が生え、樹齢を感じさせる、とても雄大な大木でした。



ウノタワにある巨木 大ブナ

《3部会合同会議》

○「桜の森計画」現地視察会 8月11日(土)午後3時～5時45分 45名参加

6月に桜の森計画の説明会を開催しましたが、今回は第2回として現地視察会を実施しました。中山城会館へ集合後、里山に入り桜の森委員会よりポイントごとに、現状や今後の整備構想等について説明を受けました。

視察後は、中山城会館で感想や桜の森計画に対する意見を交換しました。会員、自治会からの意見として、市街地から近い身近な里山を上手に整備してもらいたい、市民と一緒に計画を進めてほしい、希少植物を保護していくべき等の意見が出されました。

暑いさなか、蚊も多い中での視察会でしたが、初めて第2天覧山へ行った(登った)人も多く今後に役立つ視察会となりました。



○8月25日、9月22日、10月27日 いずれも土曜日の午後7時から9時まで

生活環境部会

部会長より、キャンドルナイトについて事業概要の説明を行い、それについて意見交換を行いました。地球温暖化防止対策、CO2排出削減の観点から実施するものですが、多くの人に参加していただき、今後の取り組みへのきっかけづくりとする事業としたいとの説明がありました。他に、清掃活動の予定について話がありました。

自然環境部会

天覧山谷津の里づくりプロジェクトの経過報告を行いました。他に全国雑木林会議、桜の森計画、環境マップづくりなどについて意見交換を行いました。

地球環境部会

主に活動報告、活動予定などについて報告を行いました。苗づくりプロジェクト事業では、樹木が中心となっているが、シュンランやヤマユリなどの草花についても取り組んでもらいたいとの意見が出されました。

その他

(仮称)飯能市環境基本条例の制定、飯能市環境保全条例の改正、飯能市環境基本計画の改訂の予定などについて、事務局より説明がありました。

《全体事業》

○まちなか清掃活動(市役所互助会合同) 10月27日(土)

今年2回目の清掃活動を予定しましたが、突然の台風の発生により雨天中止となってしまいました。今回は、事業所さんの参加申し込みが複数あり市民、事業所、行政の3者による清掃活動となる予定でしたが、恨めしの雨となりました。

《天覧山谷津の里づくりプロジェクト》

天覧山の西側にある谷津田を、昔のような田んぼに近づけていくプロジェクトが発足しました。メンバーは、市民や事業所、市民団体、行政の他地元自治会など24人で構成されています。委員長は浅野正敏自然環境部会長、副委員長は、飯能青年会議所の小久保雅章さんです。

11月11日に第1回目の現地作業を行います。谷津田の作業が始まることを広く周知し、今後の活動につなげていきたいと思っています。また、これからの維持管理や整備の計画について検討していきます。

11月、12月の活動予定 (ご案内)

各事業に参加される場合は、お手数ですが申込み先までご連絡をお願いいたします。

【11月】

11日(日) 谷津田の作業にとりかかろう！(天覧山谷津の里づくりプロジェクト)

時 間：午前9時(集合)から午後0時30分 雨天時は23日へ順延
場 所：市民会館北側 中央公園トイレ付近に集合後、みんなで現地へ
内 容：荒廃した谷津田を再生する第1回目の作業です。案内看板の設置や、草刈り、水路づくり、生物調査などを行います。

持ち物：軍手、タオル、お椀、箸、飲み物、カマ(持っている人)

服 装：長靴、作業できる服装

その他：費用は無料。ムカゴご飯、キノコ汁をふるまいます。

申込み：11月6日迄に電話、ファクス、Eメール等で事務局へお申込み下さい。

24日(土) 3部会合同会議・第3回桜の森計画説明会

時 間：午後7時から9時まで(要申込み、11月20日までに事務局へ)

場 所：市役所別館 2階 会議室3

内 容：桜の森計画について、桜の森委員会による説明会(7時から約1時間)
飯能市環境基本計画改訂について、全国雑木林会議について、ほか

28日(水) 地球環境部会・森のようちえん 森づくり事業協力

時 間：午前9時30分(現地集合)～11時30分(解散) 雨天中止

場 所：美杉台公園東側緑地・森のようちえん(大鵬薬品工業の北側)

内 容：圃(ほ)場づくり等の作業を行います。

その他：申込み、お問合せは26日までに事務局へ

本格的な山林作業とは違い、美杉台にある森林の簡単な作業です。お気軽にご参加ください。

【12月】

9日(日) エコライフ DAY2007 日程変更の場合あり

今回は、小・中学生、事業所を対象に行う予定です。

26日(水) 地球環境部会・森のようちえん 森づくり事業

時間、場所、内容等は11月28日と同様

12月の3部会合同会議はお休みです。



編集後記 今年のノーベル平和賞は、前アメリカ副大統領のアル・ゴア氏と国連の「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」の受賞が先日発表されました。アル・ゴア氏は、話題のドキュメンタリー映画「不都合な真実」や世界各地での講演を通して「地球の温暖化防止」を強く訴えています。受賞理由は「人為的な気候変動に関する知識を広め、対策の基盤構築に努めた」とあります。また地球温暖化は、紛争の危険を高め平和の脅威となるものであり、地球の温暖化防止は世界平和に大きく貢献するというのが、平和賞受賞の理由だそうです。そして最後に『気候変動が制御不能になる前に、今、行動が必要!』と結んでいます。

記憶に新しい2004年のノーベル平和賞は、ケニアの環境副大臣ワンガリ・マタイさんが環境分野で初めて受賞されたことは、皆さんご存知のとおりです。マタイさんは、日本の美徳の真髄とも言える「もったいない」の言葉に感銘を受け、環境を守る世界の共通語として「MOTTAINAI キャンペーン」を提唱し活動しています。「MOTTAINAI キャンペーン」とは、ごみの減量(Reduce)、再利用(Reuse)、再資源化(Recycle)の活動を言い表す言葉で「もったいない」の心を全世界に広めるキャンペーンです。

「MOTTAINAI」が合言葉となって「環境の環」が世界中に広がってほしいと思います。

(広報委員長:伊藤知夫)

はんのう市民環境会議事務局

飯能市環境部環境緑水課

住所 〒357-8501 飯能市双柳1-1

電話 042(973)2111(内線702)

Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

FAX 042(971)2393

会報をインターネットでご覧になりたい方は、飯能市ホームページ「計画・まちづくり」→環境基本計画→はんのう市民環境会議で公開しております。ご覧下さい。